

大僧正舍利瓶記

和上法諱法行一守行基藥師寺沙門也俗姓高志... 天曆二年歲次己丑三月廿三日 沙門真成



僧行基藏骨舍利瓶銅筒所刻墓誌復原圖 (筆者復原 吉岡宇一郎氏筆)

生駒山竹林寺緣起

際道俗同心奉掘御廟之剋八角石筒。果以出現于... 佛子寂滅謹言上

日本書紀下 岩波(原漢文)

朱皇元年九月 天武天皇下

集ひて、天皇の病の爲に、誓ひ願ふと云云。丙午に、天皇の病、遂に差えずして...

持統天皇元年

略

二年の春正月の庚申の朔に、皇太子、公卿・百寮人等を率て、殯宮に遷てて...

47 「阿不幾乃山陵記」

飛鳥の古墳を語る 猪熊兼勝 吉川弘文館

阿不幾乃山陵記 里野野口 阿不幾乃山陵記 文曆二年三月廿日...

(原漢文)

甲申に、詔して曰はく、「朕聞く、西土の君、其の民を戒めて曰へらく、古の葬は、高き因りて墓とす。封かず樹えず...

門ノ盗人等幾人一身通許切開 御陵ノ内ニ有ニ内外陣、先外陣、方丈間許敷、皆馬腦也、天井高七尺...

彫透、左右三八、尻頭四、クリタ四所、御骨、首、普通大也。其色赤黒也、御脛骨長一尺六寸、肘長一尺四寸、御棺内ニ紅御衣朽ッ少々在レ之、盗人取殘物等、被レ移ニ^{竊カ}寺内、石御帶一筋、其形ハ以銀兵庫クサリニシテ、以ニ種々玉ニ^飾之、石ニ^二形如^一連錢、表手石長三寸、石色如水精、似ニ玉帶、御枕以ニ金銀珠玉^飾之、似^ニ唐物、依^レ難^レ及ニ言語、不^レ注^レ之、假令其形如^ニ鼓、金銅桶^一許敷^ニ居床、其形如^ニ禮盤、鏢少々、クリカタ一在^レ之、又此外^ニ御念珠一連在^レ之、三匝^ノ尻^ヲ包^ル御念珠ヲ^以銅^ニ貫^ル之、而多^ク峯^ノ法師取^リ了、又彼御棺中、銅カケカケ二在^レ之、已上如^レ此、